

グループホーム ハートケアライフ八軒運営推進会議議事録

<平成24年度 第3回運営推進会議>

[日時] 平成24年 8月 21日(火) 13:30~14:30

[会場] GHハートケアライフ八軒 1F 居間・食堂スペースにて実施

[出席者] 10名

- 地域住民の代表
 - 川井 久美子 (地区民生委員)
 - 千田 忍 (西八軒町内会 青少年部部长・西八軒主任児童委員)
- 西区第一地域包括支援センター
 - 平野 玲子(看護師)
 - 柳本 早智(北星学園在学中、実習生)
- 入居者ご家族
 - 磐井 和子(2F入居者家族)
- グループホーム運営事業所
 - 三浦 隆幸(代表者)
 - 一條 英子(1F管理者)
 - 加藤 美穂(1F介護リーダー)
 - 神原 陽子(2F管理者)
 - 本間 久美子(2F計画作成担当者)

[会議内容]

1. 「ハートケアライフ八軒の介護職員としての質の向上への取り組み方」について

このホームで、積極的に参加している「外部研修」の平成23年度の内容を、資料に基づいて報告しました。各研修には、1階・2階の職員が参加して、研修で得た知識を毎月行われる「ユニット会議」において発表し、全職員の資質向上に役立てています。

このような研修を通じて、職員の意識の向上を目指し、質の高いケアを提供できるよう日々取り組んでいることをご紹介しました。

2. 質疑応答

平野看護師から、「キャラバンメイトはおられますか」との質問があり、神原・本間の2名がキャラバンメイトであるとお答えしました。千田様からは、「研修は、どのようなところが主催しているのか。」との質問があり、主に、「日本認知症グループホーム協会」「北海道認知症グループホーム協会」であるとお答えしました。また、平野看護師から、「自然災害・地震の際の避難訓練は行っていますか。」と質問がありました。ホーム側から、消防法により、年2回の火災避難訓練が義務付けられており毎年実施していますが、昨年は、東北の大災害

の事例に鑑み、自然災害を想定した訓練も行ったことを報告しました。これに伴って、参加者全員で、冬場の暖房、給水車が来るまでの水の確保、入居者の安全確保などについて話し合い、昨年の訓練の際、3日分の非常食を用意したことも説明しました。

3. グループホームにおける前回以降の行事実施報告と今後の予定について

1・2階合同行事として、6月25日「由仁ガーデン鑑賞とバイキング」は、1階入居者6名1家族、2階入居者8名5家族参加されました。8月8日 花火、8月12日 ホーム横で焼肉をしました。その他、1階では、入居者の誕生会がありました。2階では、7月9日 木下サーカスを入居者3名見学、7月25日 もいわ山ロープウェイ 入居者9名6家族参加されました。入居者の誕生日行事では、7月7日 回転寿司で食事、7月13日 北区サンプラザのコンサート鑑賞をしていただきました。

今後の行事としては、「焼肉」「敬老の日」「お彼岸」「十五夜」「体育の日」などの予定をお伝えしました。

4. 運営推進会議の次回開催予定

参加者で検討し、10月16日(火)と予定しました。

5. 総括

施設長から、先に説明したように、職員には積極的に外部主催の研修に出てもらっています。居宅サービスなどより、認知症グループホーム協会は活発に活動しており、このホームは、「日本認知症グループホーム協会北海道支部」「北海道認知症協会」のどちらにも会員になっていること。今後も、職員に対する研修には力を入れ、質の向上を図っていくとお伝えし、日頃のご理解とご協力に感謝申し上げます。

この後、当日行っていた「夏祭り」を参加者の方々に見ていただきました。祭り終盤の「ねぶた」「よさこい」に皆様の拍手を頂き、会議を終了しました。

以 上

ハートケアライフ八軒 第3回 運営推進会議資料

平成24年8月21日

- I 介護職員としての技術、質の向上を目指して全職員を対象に札幌市及び北海道介護保健課主催、北海道グループホーム協会主催の研修会へ参加し知識を深め、又は他事業所の職員と共に学びながら、困難な事例の解決の糸口を掴んだり、悩みをお互い話す事で自分だけが悩んでいるのではないと精神的にも解消され、日々の業務で新たな発展を遂げています

II 平成23年度外部研修内容の報告

1 実践に学ぶ認知症のリハビリテーション (若年性)

若年性は高齢者と比較し、周囲から孤立しやすい。はっきりと認知症と告知する事が、本人にとってその後の生き方に大きく左右するので必要である。何の為に行っているかを理解して貰うのは重要である。

2 高齢者の権利擁護を考える

高齢者虐待を通じて成年後見制度の活用を考える。判断能力がない方について本人の権利を守る援助者を選ぶ事で法律的に支援する

3 認知症とコミュニケーション

症例別認知症を理解をすることで認知症の人としての権利を理解する

4 認知症ケアにおける思考展開の方法

日々ケアをしていて困難と感じた場合は最初に中核症状を懸案する事から始める。中核症状とは脳の細胞が壊れることによってその細胞が担っていた能力が失われる

5 高齢者の心と身体を理解

老いとは？加齢に伴う心身の変化

6 ケアプラン研修会 (スタッフ向け)

7 ターミナル研修。3回コース (各2日間)

その人らしい暮らしを最後まで支えるために

8 人財育成研修会

主体的に考え行動出来る職員を育てるコーチング

9 センター方式を活用したケアプラン作成研修会

10 札幌市キャラバンメイト育成&フオロアップ研修

認知症サポーターを育成

11 パーソンセンタードケア 認知症の「人」の理解

12 若年性認知症の理解

早期発見、早期治療の重要性について

13 災害に備えて

地震、災害に備えて施設でできる事

発生時に大切なのは死なないこと。怪我をしないこと。

地震が来ても怪我をしない環境を日頃から作っておく

14 防火火災研修

――防災センターで実施。濃煙発生した救助訓練を体験――

Ⅲ施設内研修

1 応急措置、事故発生時の対応について

2 感染症及び食中毒予防の取り組み

3 外部研修報告を通じて全職員へ周知徹底し理解を深める

以上様々の研修へ参加し知識と理解を深め、全職員が共通認識を持ち入居者の尊厳を保ち、安泰な日々を送れます様に取り組んでおります。

平成 24 年度も同様の研修会へ参加し学んでいます。